



げんきな子 がんばる子 やさしい子

園だより

10月号

 北区立さくらだこども園
 園長 西澤尚子

「してみたい」を大切に

副園長 本橋 房子

最近、ようやく涼しさが感じられるようになり、戸外で体を動かすことが楽しめる季節になってきました。

5歳児は、リレーで力いっぱい走ることや、学級のみんなでバルーンをすることなどを楽しんでいきます。リレーやバルーンは、去年の年長児がしていたことをよく覚えており、今度は自分たちができることに喜びを感じながら取り組んでいます。5歳児が園庭でリレーを始めると、3、4歳児は周りで「がんばれー」と応援し、バルーンをしているときには、そのカラフルで大きな布の動きに興味津々！じーっと見つめています。3、4歳児にとって5歳児は憧れの存在です。身近な年上の子がしていることがとても魅力的に見え、自分も同じように「してみたい」という気持ちが生まれます。その気持ちから子どもの世界は広がっていきます。

朝の預かりの時間の体操では、いつも5歳児がみんなの前に出て体操してくれるのですが、「GO GO 金メダル」という体操では3、4歳児が自分からみんなの前に出て、5歳児と同じように張り切って体操しています。年上の子をまねながら自分もできたといううれしさ、年下の子から憧れられる誇らしさを、保育者や友達からの認め言葉や眼差しから感じているようです。

保育者は、子どもたちが自ら「～してみたい」という気持ちで活動に取り組み、実際に心や体を動かしながら体験を重ねられるよう環境を工夫しています。3学年の子どもたちが日頃から関わり、互いのしていることを見合える環境もその一つです。

もう少しすると運動会があります。それに向かう過程を通して子どもたちが自らしてみたことで、「体を動かすことが楽しい」「みんなで一緒にするとおもしろい」「友達と力を合わせていろいろなことができた」などの充実感や達成感を感じてほしいと願っています。ときには「～してみたい」という気持ちがあっても「難しいかも…」「恥ずかしいな…」といった思いからなかなか動き出せない子もいます。そのようなときは、保育者が気持ちを受け止めたり、共に動いたりしながら、「やってみたら楽しかった」「すぐにできなくても大丈夫だった」と思えるように支えています。保護者の皆様には、当日までの子どもたちの心と体の育ちに目を向け、一人一人の姿を温かく見守っていただければと思います。

さくらだこども園の運動会には、地域で子どもたちを見守ってくれている方々にもご案内を出しています。地域で育つ子どもたちの成長の姿と一緒に喜んでいただき、子どもたちが安心して生活できるつながりをもっていきたいと考えています。



—今月の指導のめあて—

- 〈3歳児〉
 - ・保育者や友達と一緒にいるうれしさを感じながら、かけっこやリズム遊びなど体を動かして遊ぶことを楽しむ。
 - ・遊びを楽しむ中で、自分の思いを動きや言葉で表そうとしたり、伝えようとしたりする。
 - ・木の実で遊んだり、虫を見たり、季節の食べ物を知ったりして秋の自然に親しむ。
- 〈4歳児〉
 - ・保育者や友達と一緒に伸び伸びと体を動かして遊んだり、学級や学年のみんなで活動したりすることを楽しむ。
 - ・落ち葉や木の実など、園庭の自然に触れ、季節の変化を感じたり、遊びに取り入れたりする。
- 〈5歳児〉
 - ・遊びや生活の中で必要なことを考え、自分から行動しようとする。
 - ・伸び伸びと体を動かしたり、自分の力を発揮したりする楽しさや充実感を味わう。
 - ・共通の目的に向かって、友達と力を合わせて取り組んだり競い合ったりする中で、満足感や充実感を味わう。